

# 実技に使う用具紹介

鉛筆など消耗品を中心に販売しています。また桂教室の近隣には画材屋があり、自分に合った画材の購入が出来ます。

※受験では「持参道具」が学生募集要項に記載されています。志望校の要項に記載されている用具は全て揃えましょう。

※描写・色彩の講座に使用する画用紙は無料配布しております。



描写用具	鉛筆	3H～3Bをよく使います。同じメーカーで揃えることをおすすめします。
	カルトン	画板のこと。描画する際に画用紙をのせて使います。
	カッターナイフ	描写用の鉛筆はカッターで削ります。
	ねり消しゴム	描写の消し具には基本的にねり消しゴムを使用します。
	ペン消しゴム	細かい部分を消したり、ハイライトを表現するときに使います。
	クリップ	カルトンと画用紙を固定したいときに使います。
	羽根ぼうき (ダスティングブラシ)	絵を汚さずに消しゴムのカスを払うときに使います。
クロッキー帳	鉛筆画や速写に適した紙が使われています。 本校ではアドバイスをメモしたり、色彩や立体での構想を練るために使います。	



色彩用具	アクリルガッシュ	京都市立芸術大学や高校の色彩の試験科目で必須の不透明水彩絵具です。
	ペーパーパレット	使い捨てパレット。アクリルガッシュを使うときに便利です。
	透明水彩絵具	日本画受験の着彩課題に必須。支持体の色が透け、薄塗りに適しています。
	アルミパレット	透明水彩絵具用に使います。
	筆	平筆や彩色筆（丸筆）、面相など太さの違うものを数本揃えましょう。
	絵刷毛	大きな面を塗るときに便利です。
	色鉛筆	24色以上のものがおすすめです。
筆洗器	水がたっぷり入り、安定性のあるものを選びましょう。	
筆巻き	保管するときに筆先を傷めないために使います。	



立体用具	カッターナイフ	大きめのものをおすすめします。鉛筆を削るものとは別に用意しましょう。
	はさみ	刃先の尖ったものを選ぶと細かい作業がやりやすいです。
	直定規	ステンレス製のものやプラスチック製、方眼が入ったものがあります。
	三角定規	30cmくらいのものを使いましょう。方眼入りが便利です。
	分度器	少し大きめのものをおすすめします。
	コンパス	大きな円が描けるものが便利です。
	木工用ボンド	京都市立芸術大学の試験では接着にボンドを使います。
	マスキングテープ	部品の仮止めに使用します。
かきペラ	粘土をかき出すためのペラです。	
彫塑ペラ	細かい造形をするためのペラです。	